



せんにちこう 千日紅



花言葉は
「安全」

第13号

平成30年 1月29日

発行：入谷小学校

文責：主幹教諭 小野寺 孝夫



心肺蘇生 トレーニング

少年消防クラブの活動



ビデオを使用し、分かりやすく教えて
いただきました



心肺蘇生トレーニングキットで実習中



2人1組の心肺蘇生訓練

1月24日(水)の4校時に南三陸消防署の4名の消防士の方々に来校していただき、入谷っ子少年消防クラブの活動として、救急講習を行いました。子どもたちは「命の大切さ」や「Don't be afraid. Just do it!」(恐れなくて、行動を起こそう)というキーワードから小学生でも勇気をもって行動することが大切であることを学びました。上記の写真は実習キットで心臓マッサージを行っている写真です。子どもたちは1分間に100回のペースで押していましたが、「すごい、疲れる」と言っていました。命を救うことの大変さを実感していた様子でした。



必要かどうか？ AEDが判断します



AEDは、自動体外式除細動器の略でコンピューターによって心臓のリズムを調べ、除細動(じょさいどう ※電気ショック)が必要かどうかを判断する機械です。救急現場で一般の人でも、簡単に安心して除細動が行うことができるように設計されています。よって、必要かどうかは機械が判断するので、人が倒れていたら『119に知らせる』『AEDを持ってくる(使用する)』ことを行いましょう。

救急講習会と同日に、みやぎの防災とメデア研究会の方々42名が南三陸町を訪れました。その名の通り、防災と放送や新聞などに関係した方々をはじめ大学等各関係機関の方々で立ち上げた団体です。南三陸町の復興や防災の様子を見学に来町し、入谷小学校の防災教育についてもその活動を見ていきました。

42名の方が来校しました